



今月の援農状況

- 朝夕 めっきり寒さを 感ずるようになりました。
- ・ 通年にわたって農家固定型で 援農作業にあたっていただいている方々にも これからの 寒さを迎え 宜しくお祈りします。
- ・ 前月9月の月間援農時間は 800hほどとなりました。9月末での年間累計値では 昨年同月末比 147%となりました。

援農体験記 「石の上にも六年目」 虻川 恵志子

「石の上にも三年」の意気込みで、緊張感に溢れて始めた私の援助農業も いつの間にか六年目になりました。この間、「道の駅滝山」や「ねぎぼうず」の開設、すずしろ22の要請による学校給食への供給開始等に合わせ、中西農園は作付品種も年々多様化させるなど時代の変化に対応した農業経営をおこなっています。

その一方で農閑期というものが無くなり、労働が通年化しつつあるご家庭のご苦労を目の当たりにすると援農制度の意義というものを改めて感じます。

青空の下で汗を流す仕事は充実感があり、又、退職した夫と離れて居られる時間は貴重です。「石の上にも十年目」を目指して頑張りたいと思っています。

富所農園・イベント 便り

窓口責任者 酒井敏夫



農園の南 30m 整備された水汲み場

今月は気温の変化 行きつ戻りつが、作物に影響大きく、露地栽培は天気次第と言われる通りですね。特に 葉ものは芳しくない。それでも皆さん手入りに頑張ります。撤退者出ましたが隣が引き受けてくれ空き区画無し。富所小屋の台風被害も合津さん修復してくれ感謝です。実りの秋、隣り栗林から落ち栗の音が時々します。その手前の小川の改修工事が来月始まり、道幅の広がり期待でき、焼却スペースの確保を狙ってます。富所に行くとかだれかれとなく自然に挨拶が交わされ和やかな空気が流れます。

「芋の葉の くぼみ深める 露の夜」 (読売)

収 穫 祭



恒例の収穫祭を 今年も 子供キャンプ場で開催しました。56名の方々が参加。

地元農家の野菜販売の他 豚汁・焼そば・さつまいも焼・だいがく芋等の提供がありました。「高尾青年の家」・留学生の方にも特別参加いただきました。昼食時には オカリナ吹奏・沖縄三線の演奏・留学生の声の紹介などもあり 天気にも恵まれた秋の一日となりました。



チョツと耳にした情報・アドバイス

(1) きこの収穫

今年の収穫は例年に比してやや不作とか。「キノコ採りではナイロン袋ではなくかごの類を持って入山してほしい」とのこと。「きのこのハウシが山中に拡散されることを期待できる」

(2) 玉葱・大蒜の定植

そろそろ 定植の時期を迎えます。「玉葱・大蒜は肥料食いーともかく豊富な肥料を与えてやるのが豊作の条件」とか。「できれば さらに 土寄せを」とも。

(3) スズメバチ

蜂にさされる被害が マスコミで時々報じられています。怖い存在。一方で「スズメ蜂は農業にとっては益虫である」。「もろ刃の剣」といったところでしょうか。



事務局からのお知らせ

人材ー農家需要と市民意欲のマッチング

(1) 台風一過

不順な天候がつづきます。特に ねぎへの被害が目立つとの話があります。暦の上では今年11月8日が早くも立冬。秋野菜の収穫最盛期を迎えることとなります。祈 豊作。

(2) 援農のあり方検討委員会

援農は当会の基幹事業です。会の発足以来の七年を経過して そのあり方を 農家と援農者の両サイドから 見直し検討することになり 8名からなる委員会を発足させました。

(3) 豆腐講演会

豆富一丁庵の高地社長さんを講師に迎えて 10/15 台町以外で開催。13名参加。「国産大豆による豆腐作りに強い意志を持って取り組んでいる方が身近にいてうれしい」